



にぎわい東北
— つなげよう、ふるさとのチカラ



2017年5月2日
株式会社コックス

東北に寄贈・植樹したさくらが開花しました！仙台・石巻・山元町・新地町を訪問

「さくら並木プロジェクト」視察会 4.15 in 宮城県・福島県 参加レポート

これまでに植えた 6 本の苗木はすくすく生育！地元の方々とも交流しました



株式会社コックスは、東北復興支援活動の一環として「さくら並木プロジェクト」に参加しています。2017年4月15日（土）、春の視察・メンテナンス会に参加しました。

コックスがこれまでに寄贈・植樹したのは、全 4 カ所、累計 6 本のさくらの苗木です。今回は、これまでに植えた植樹地と苗木すべての視察を行ないました。東北の遅い春を感じる、うららかな日差しの中、地元の方々や活動に賛同するファッションブランドの方々とも交流しました。



さくら並木プロジェクトとは



「さくら並木プロジェクト」は、東日本大震災時の津波被害の風化防止と、将来起こりうる津波発生時の避難目標とすべく、津波の到達した地にさくら並木を造成する、NPO 法人さくら並木ネットワークの活動です。

当社はこの活動に賛同し、2014 年より参加しています。オリジナルの支援商品を販売し、その販売額の一部からさくらの苗木を寄贈・植樹しています。昨年は 3 月に 1 本、11 月に 1 本をそれぞれ植樹することができました。お客さまの商品ご購入により、当社が植樹したさくらは累計 6 本を数えます。

これまでの植樹地と植樹本数

2014 年	4 月 13 日	宮城県仙台市若林区種次	1 本
2015 年	3 月 22 日	宮城県石巻市北上町十三浜	3 本
2016 年	3 月 26 日	福島県相馬郡新地町大戸浜	1 本
	11 月 27 日	宮城県亶理郡山元町戸花山	1 本



計 5 本のさくらが開花！順調に生育中です！

お客さまの支援商品お買い上げ金額の一部を、さくらの苗木として最初に寄贈したのが仙台市若林区種次です。この 1 本目を植樹したのが 2014 年、それから 3 年が経ちました。小さな苗木はのびのびと枝を伸ばし、小さな芽や可憐な花をつけ、私たちを迎えてくれました。

その他の植樹地でも、さくらはしっかりと地に根を張り、計 6 本中それぞれ少しずつではありますが、5 本もの苗木が開花しているのを確認できました。また、昨年 2016 年 11 月に植樹した亶理郡山元町の苗木も、植えて半年足らずなので開花はまだですが、生育は順調です。どの苗木も、NPO や地元の方々の手をお借りしながら、すくすくと順調に育っています。

仙台市若林区種次



石巻市北上町十三浜



相馬郡新地町大戸浜



亶理郡山元町戸花山



【コックスの苗木】 写真では見えづらいですが、みんな花を咲かせています！

種次の苗木



大戸浜の苗木



十三浜の苗木



昼食会～被災地視察

植樹地の視察・メンテナンスの前後では、昼食会と被災地の視察が行なわれました。

昼食会では、新地町大戸浜地区の方々が温かく迎えて下さり、地物を使った食事で手厚くもてなしてくださいました。また、参加者との餅つき大会もあり、当社の従業員も慣れない手つきながら地元のお母さんと息を合わせて杵を振るっていました。

被災地視察では、石巻市十三浜の植樹地近くにある「大川小学校」を訪問。多くの犠牲者を出した校舎は今も、被害の爪痕を色濃く残し津波の恐ろしさを訴えかけてきます。間近で見る光景に、思わず言葉を失いました。

全 4 カ所の植樹地を回中で地元の方々と触れ合い、みなさんの温かさや強さを感じるとともに、被災地の復興や発展の為に持続的・継続的な支援の必要性を再認識する一日となりました。



1 年ぶりの再会。皆さん笑顔で迎えてくださり、参加者も元気をもらいました。東北の食材を使ったおいしい食事や餅つきで交流します。震災当時の貴重なお話なども改めて伺うことができました。



多くの津波犠牲者を出した大川小学校を視察。すぐ近くの北上川を逆流してきた 10m もの高さの津波が押し寄せ、校舎を飲み込んだ。

支援商品の発売（2017）

本年 2 月 22 日(水)にも、主要ブランド「ikka」より支援付き商品をメンズ・レディースそれぞれで発売しました。お客さまにお買い上げ頂くことにより、販売額の一部を苗木やそのメンテナンス（保守・保全）費用として寄付します。



▲SAKURA 花柄刺しゅうプルオーバー
3,800 円 + 税



▲SAKURA サカリバテラード
4,800 円 + 税



コックスはこれからも、一日も早い東北の復興と発展を願い、ファッションを通じた支援活動を継続して参ります。